

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年1月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900267
法人名	有限会社 さつま福祉会
事業所名	グループホーム さつま苑 (A棟)
所在地	鹿児島県伊佐市大口針持1235番地8 (電話) 0995(25)2000
自己評価作成日	平成24年1月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・同敷地内に温泉施設があり、苑のお風呂も温泉をひいている。
- ・家庭的な雰囲気、いつでも笑い声のある施設である。
- ・地域との交流を大切に、近くの小学校との交流をしている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年2月20日

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフと利用者が、毎日リハビリ体操時、理念を唱和し、理念の意義を踏まえた上で、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	通院・理髪店・地域の小売店を利用し、つながりを続けている。又、地域の行事や小学校の行事に参加したり、苑の行事に参加を呼びかけ、交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民の方々からの、認知症の方の症状や支援方法の相談にのり、苑の見学、グループホームの役割等について説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとの運営推進会議で、利用者やサービスの実施状況を報告し、委員の方々からの質問・意見・要望を受け、話し合い、苑のサービスの質の向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会に出席して頂き、又、行事への参加を依頼し、苑の取組み等を報告したり、又、行政からの情報を頂いたり、質問等相談にのって頂き、情報の共有・協力を行い関係を築くよう取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>スタッフ全員が、身体拘束による心身の弊害を理解し、見守りや声かけを行い、認知症の方々の苦痛にならないケアに、日々取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>一人ひとりが日常生活の中で、言葉や言動の中に虐待はないか、お互いに気をつけ注意し合っている。勉強会も行い、防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会にて、権利擁護についての理解をし、必要時、活用できるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、十分に時間を設け丁寧に説明を行っている。特に診断に関する体制・入居費等の費用・考えられるリスクや、状態の変化により、契約解除に至る場合も含めて、家族に充分説明し、決定同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者の、日々の生活の言動に見える細かな訴えや意見・不満・苦情に気づき記録・申し送りにて、全スタッフで共有し、改善に向けて取組み、ケアの向上を図っている。又、家族にも気兼ねなく不満・苦情が言えるように、声かけ雰囲気を作り、声に出せない心に気付くケアに心がけている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員が意見や提案を、いつでも話せる環境作りに努め、意見等を聞き、話し合い改善に向けて取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得に向けた支援を行い、研修会への参加の呼びかけ、情報提供を行い、各自、向上心を持って働けるように努力している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフの経験や力量に合わせた研修会への参加を提案し、参加してもらい、又、勉強会も行い、自ら向上していけるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の地域密着型事業所連絡会の中で、他事業所の事例発表等の学習会に参加したり、近隣のグループホームとの交流があり、相談や情報交換を行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	時前に本人・家族と面談し、身体状態・生活歴・心配事や思い・要望を聞き、理解し受け入れるよう努めている。又、入居前になるべく苑の見学をして頂き納得して入居して頂けるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	時前に家族と面談し、困っている事・不安な事・要望を聞き家族の立場になり、思いを受け止め信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の今、一番困っている事等を、しっかり聞き理解し、出来る支援は行い、出来ない事は、他のサービス等を紹介し援助が受けられるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフは、利用者より教わる事も多く「人生の先輩」として尊敬している。理念に基づき、一緒に生活する家族と位置付け、互いに支え合い、安らげる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日常生活の様子・変化等、状態を家族に伝え、お互いの情報を共有化し、家族と同じ思いで、一緒に支えていく気持ちである事を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前からの、通い慣れた病院への通院や往診を受け、関係を支援している。又、友人・知人の面会時は、ゆっくり話ができ、楽しんで頂けるよう支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの性格や心身の状態を十分に把握し、トラブル時はスタッフが中に入り、利用者同士の関係がうまくいくように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や施設に移られた方に、お見舞い・面会に出かけている。又、家族にも連絡をし、状態を聞いたり、相談があった場合は対応している。退居後も連絡を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の話をゆっくり聞いたり、言動からくる思いや、希望を受け止めるように努め、時には家族を交えて検討し、本人の意向に沿った暮らし方に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族に、これまでの生活歴を聞き、入居後も家族や知人の面会時等に、情報収集し、日常生活の中でも聞き、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを把握し、その方の心身の状態に応じて、出来る事を、引き出せるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の思いや希望・主治医の意見、スタッフの気づき、アイデアを反映させるようにしている。定期的、必要時にカンファレンスを開催し、意見・情報を基に話し合い、ケアプランを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録に食事量・排泄・バイタルや、その日の様子を日中・夜間帯に分けて記入し、情報を共有し、日々の変化を評価し、介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者一人ひとりの、その時の状況に応じて、多様なその方に合わせた個別支援に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が、安心した暮らしを続けられるように、民生委員・老人クラブの方等に、苑の行事等に参加して頂き、意見交換する機会を設けている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの主治医の元で、通い慣れた医療機関に、定期的に又は、心身状態に合わせた受診ができるように支援している。家族が同行できない方には、スタッフが同行し日々の様子・状態を報告する体制をとり支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	利用者各自の主治医・苑の協力医・薬局に緊急時・必要時に相談をさせて頂き、対応している。又、苑に看護スタッフがあり、必要に応じて対応・指導・助言をもらって支援している。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	家族を交えて担当医と話し合い苑での対応可能な段階で、なるべく早期退院できるように取組んでいる。入院時には、苑での本人の状態を病院側へ詳しく情報提供すると共に、スタッフも面会に行き、状態を見守っている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	状況の変化を常に家族に報告・相談しながら家族の意向を確認し、主治医やスタッフと話し合いを行い、家族、主治医と連携をとりながら苑でできる事、できない事を話し合い対応している。重度化については契約書に記載している。		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急マニュアルは作成し、スタッフに配布している。心肺蘇生や異物除去の訓練を勉強会にて実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回昼・夜を想定した、避難訓練を実施している。自動火災報知システムを導入し、地域の協力体制については、地元消防団・近隣住民・運営推進委員会で、協力を呼びかけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの人格を尊重し、認知症からくる言動もその人の個性として、理解、受け入れ、否定しないように努め、尊厳とプライバシーを傷つけるような声かけ、対応をしないように再確認し、対応をしている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>食事の献立や、その日に着る服、入浴等、日常生活の中で、本人の希望を聞きながら、自由に選択・決定できるように支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れを、その方の体調・希望・思いを大切に、その方のペースに合わせて見守り、時にはスタッフがゆっくり対応する等、柔軟な支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	行事や外出時に、自分の好みの服を選ぶ支援をし、おしゃれができるように支援している。数ヶ月ごとに、カットや毛染めを行い、その方に合わせた支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を決めたり、下ごしらえや味見・食後のテーブル拭き等をしてもらっている。食事はスタッフも一緒にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量を毎食チェックし記録している。個々の状態に合わせて、量や形態に配慮している。メニューは記録をし、重ならないように、バランスの良い食事を支援しており、水分量もチェックし、脱水・便秘にならないように配慮し、水分制限のある方は量を把握している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>スタッフは、口腔ケアの大切さをよく理解しており、個々の状態に応じた口腔ケアを、毎食後支援している。義歯の方は、夜ははずして頂き、毎週一回確実に、薬剤による義歯洗浄を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>スタッフは、一人ひとりの排泄パターンを把握し、さりげなくトイレの声かけ案内を行い、トイレでの排泄ができるように支援している。自分で出せることはして頂けるように支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	スタッフは、便秘による悪影響を理解している。水分補給に努め、食事で食物繊維や乳製品が摂れるように取り組んでいる。又、リハビリ体操や、散歩等で運動をし、自然排便ができるように取り組んでいる。自然排便が困難な方には、主治医と相談し薬を処方して頂き、排便の様子を観察し対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望に合わせて入浴日・順番・湯加減で、個々に応じた支援をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの、生活習慣を把握しその方の状態に合わせ、なるべく日中の活動をして頂き、安眠できるように支援している。日中も、その方の状態に気をつけ、休憩の声かけをしている。夜間の不眠の方には、主治医と相談して、薬剤を含めた安眠策をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を、ケース記録にファイルし、薬の内容、副作用がいつでも把握できるようにしている。服薬時は確実に確認している。薬の変更、臨時薬時は、変化等ないか注意し、記録に残し対応している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作りや掃除、後片付けなど出来る事をして頂き、感謝の言葉を伝え、役割を持つ喜びを支援している。花見や外食に出かける機会をつくって、季節の行事を楽しみながら行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>買い物に出かけたり、自宅へ帰ったり、本人の希望を家族に伝え、協力を頂きながら支援している。又、家族が近くにおられない方に対しては、墓参り、自宅への外出を、スタッフにて支援している。季節の花見やドライブに出かけたりし、普段行けない場所への外出も支援している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や能力に応じて、お金を自分で管理し外出時買い物をされたり、又、お金を苑で預かっている方でも、希望に添って買い物支援をし、支払いを自分でして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望で電話をかけたり、取り次いだり支援をしている。又、年賀状・暑中見舞いに一言直筆にて書いて頂く等支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>テレビの音量・照明・室内の温度は、その場に居る方に合わせて調整している。トイレの臭い等も消臭スプレー等を使用し不快を感じさせないように配慮している。台所から聞こえてくる調理の音・匂い又、食堂より見える季節の草花を見、生活感、五感への働きかけを工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関内外、食堂にイスやソファを置き、気の合った利用者同士で外気浴や話を楽しんだり、いつでも居室に帰ることができ、一人の時間等を自由に過ごせるように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時、出来るだけ使い慣れた家具・雑貨・日用品を持ち込んで頂き、その方の好みや使いやすさに合わせた居室づくりをし、居心地よく過ごして頂けるように工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの身体機能にあったベットの高さにし、ベット柵や、あらゆる所に手すりを取り付け、できるだけ安全で自立した生活を送れるようにしている。トイレ・居室等に表札などをつけ、自立した生活を送れるように支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない